

TBK の電磁式リターダ、燃料電池小型トラックに採用

株式会社 TBK（本社：東京都町田市、代表取締役社長：尾方 馨）の量産する電磁式リターダ※¹ が、商用分野で電動車普及に向けた大規模な社会実装に取り組む※²Commercial Japan Partnership Technologies 株式会社（以下、CJPT）※³ の導入する燃料電池小型トラック※⁴ に採用されました。

長年、既存トラックやバスの補助ブレーキとして利用されてきた TBK 製リターダは、エンジンがモーターに置き換わる電動車に対しても、より一層の有効性が期待されています。本補助ブレーキシステムは運転安全性の向上のみではなく、ブレーキダストが抑制され、地球環境の向上にも貢献します。



TBK の電磁式リターダ



CJPT の導入する燃料電池小型トラック

当社は今後も、安全で信頼性の高い製品をお客様に提供するとともに、サステナブルな社会の実現に向け取り組んでまいります。

※¹ 理想的・経済的な非接触型の減速システムとしてトラック・バス向けに量産。

※² 2022年7月19日、CJPTが「電動車普及に向け、福島・東京でエネルギーマネジメントシステムの構築・社会実装開始」を発表。

※³ いすゞ自動車・スズキ・ダイハツ工業・トヨタ自動車が参画する、商用車におけるCASE技術・サービスの企画会社。

※⁴ いすゞ自動車・トヨタ自動車が共同開発するFC（燃料電池）小型トラック。